

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2011.3.15 No. 100 連絡先 FAX 042-555-1911



東日本大震災で犠牲となった方々に哀悼の意を表し

被災者のみなさんに心からのお見舞いを申し上げます

3月11日に発生した東日本大震災は、日本での観測史上最大のマグニチュード9.0という巨大地震でした。巨大津波が町や住宅をのみこんでいく様子は現実の出来事とは思えません。壊滅的な被害です。いま、命の危険にさらされている方々、行方不明の方々の救助と捜索を一刻も早くおこなってほしい、と祈るばかりです。

さらに、福島第一原発の爆発など大変な事態が起こっています。政府は15日、福島第一原発3号炉と4号炉附近で、人体に影響が出る1時間当たり400ミリシーベルトを観測したと発表し、いままでの20km圏外退避に加えて20～30km圏内者への屋内退避を指示しました。

人命第一の対応が求められます。これからの報道を注視していきましょう。

計画停電？。国民は節電に協力しようと思っています。しかし、強制的に停電して、国民はガマンして当然というやり方は、あまりにも一方的で無計画であると感じます。とにかく、計画停電の具体的な情報がみんなに知らされないし、突然の交通機関の運行中止にも多くの人々を混乱に巻き込んでいます。弱者の方々にも大きな不都合があったのではないのでしょうか。

いま天災も、私たちの想像を超えることが起こっています。地震国の日本ですから、地震や津波についても日頃からの備えが必要です。和歌山県で津波対策の避難タワーが11カ所に建設され、今後6カ所に建設を予定されていることを3月13日号の赤旗日曜版で知りました。津波は避難計画と避難施設がしっかりしていなければ避難タワーを実現させてきたのです。

東日本大地震には、多くの救助が入っています。自衛隊も5万人態勢、いや10万人態勢だそうです。そして米軍も横田基地から出荷貨物を準備している様子がYokota Air Baseのホームページに載っています。軍隊は戦争することが任務ですが、人を救助する仕事をするのです。これが人間としてのやるべきことです。

被災者のみなさんが、一日も早く、普通の生活が取り戻せるよう願っています。

基地の防衛を想定した訓練（7日～11日）が横田基地で行われた

前号で横田基地での運用即応演習について日程をお知らせしました。9日は、9時にすべての門を一時的に閉鎖、と書いてあったので、第2ゲートに行ってみました。重い扉は閉めら



ないで、数人が作業をしていました。

訓練は、だんだん実戦的になっているようです。毒ガスなどで攻撃を受けても大丈夫のように、ガスマスクを付け、腕にはM9テープというのを、腕章みたいに両腕に2つつ付け、そのベルトの色の変化で、有害なガスの有無や種類を判断するそうです。（写真は第2ゲート、奥はショッピングセンター）

3月6日、千葉から【米軍横田基地視察バスツアー】

(No. 100 の裏面)

昨年の「横田基地もいらない！ 10.9 集会」に参加された、「囲碁九条の会ちば」の佐藤事務局長の呼びかけで、3月6日（日）囲碁九条の会ちば、八千代・九条の会、八千代平和委員会、年金者組合佐倉支部・八千代支部のみなさん 43 名が大型バスで、横田基地見学と、横田基地の地元との交流会にきてくれました。



交流会では、横田基地の撤去を求める西多摩の会の窪田事務局長が横田基地について話し、千葉の方からは、1トンの火薬庫を21トンの火薬庫に建て替えがすすめられている自衛隊習志野基地の状況などが話されました。平和、暮らしの話題も豊富で貴重な交流会でした。

沖縄人は「ごまかしとゆすりの名人」 メア米日本部長が暴言

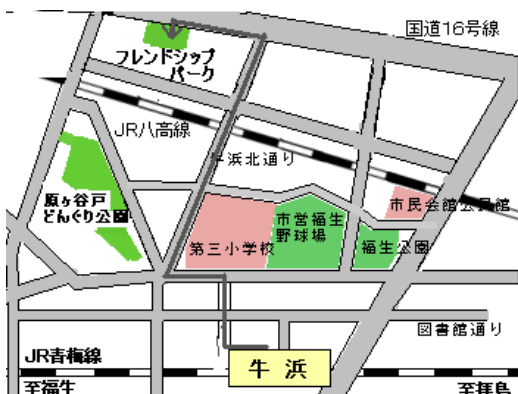
米務省のケビン・メア日本部長（前駐沖縄総領事）が昨年末、米大学生らに国務省内で行った講義で、「沖縄人はごまかしとゆすりの名人」などの侮蔑的な差別発言をしていたことが6日、分かりました。日本平和委員会は7日、オバマ大統領に「米務省メア日本部長の沖縄県民侮辱の発言に抗議し、罷免を求める」抗議の文書を送りました。

メア日本部長は、「沖縄人はごまかしとゆすりの名人」「沖縄人はあまりにも怠惰なのでゴーヤーも栽培できない」「沖縄人は普天間基地が世界一危険な基地だと主張するが、それが事実でないことを知っている。福岡空港や大坂伊丹空港は同様に危険だ」と発言。その上「日本政府がいま払っている高額の受け入れ国支援（思いやり予算）は、米国に有益だ。われわれは日本で、とてもよい協定を得たのだ」などと発言していました。まさに米政府の本音です。

沖縄の地元新聞も、「日本の米軍駐留経費負担は他の受入国と比較できないほど高額だ。小さな沖縄に多くの米軍が駐留し、その基地の起源は『銃剣とブルドーザー』と呼ばれる米軍占領下の圧政だった。駐留経費負担や沖縄の歴史と基地被害に思いを寄せず、『ゆすり』『ごまかし』というさげすみの言葉を吐く米外交官の存在が嘆かわしい。」と書いています。

普天間基地のある宜野湾市の安里猛市長は、「在沖総領事として事実を知っていながら、米国民に事実をねじ曲げて言う。彼こそウソつきの名人としか言いようがありません」と語っています。琉球大学名誉教授の宮里政玄氏は、占領意識丸出しのメア発言に「頭にきて、言葉に出ないくらいの怒りを感じました。」「日米両政府は、沖縄はカネと脅しで何とかなると甘く見ていますが、これを機に沖縄の運動はさらに盛り上がると思います。」と語りました。

県民の怒りをあび、メア氏は解任されました。さらに、基地押しつけノイの声を上げよう！



横田基地の撤去を求める座り込みにご参加を！

《アクセス》
JR中央線立川から
青梅線に乗り換え
西武新宿線の場合は
拝島駅で乗り換え
牛浜駅下車
東口より徒歩約12分

《3月より7月までの日程》
第24回の座り込みは 3月20日
第25回の座り込みは 4月17日
第26回の座り込みは 5月15日
第27回の座り込みは 6月19日
第28回の座り込みは 7月17日
◎午後1時半から3時半まで